



令和改元記念

慈善能

じぜんのう

能 狂言
石橋 六地藏

童子 福岡 聡子
赤 渡邊 茂人
白 島村 明宏

能村 祐丞



令和元年

12月15日(日) 13時開演 (正午開場)

石川県立能楽堂
金沢市石引4丁目18-3 TEL.076-264-2598

〈前売〉3,000円(税込) 〈当日〉3,500円(税込) 〈若者割〉当日のみ、30歳未満 1,500円(税込)
※受付にて年齢を確認できるものをご提示ください。

チケット
取扱

金沢能楽会事務所(076-255-0075)、石川県立能楽堂(TEL.076-264-2598)
石川県立音楽堂チケットボックス(TEL.076-232-8632)
※前売予約をすることが出来ます。詳しくはホームページまたは能楽会事務所にお問合せください。

主催：公益社団法人 金沢能楽会

■この事業の収益は下記へ寄付されます。
公益財団法人 北國がん基金、北陸交通災害等遺児をげます会、金沢市、石川県

お問い合わせ

金沢能楽会事務所

tel.076-255-0075 fax.076-255-1415
http://www.kanazawanohgakukai.jp



令和改元記念

慈善能

じぜんのう

〔舞囃子〕

高砂 広島克栄

大鼓 田中一義 太鼓 大橋紀美
小鼓 多田順子 笛 矢野由香子

田村 松田若子

大鼓 飯嶋六之佐 笛 吉野晴夫
小鼓 住駒俊介

〔狂言小舞〕

うさぎ 城戸絃詩
掛川 若生敏郎
七つ子 中尾史生
八島 炭哲男
よしの葉 綱島憲

〔連吟〕

岩船 米島和秋 谷清士
寺田茂 中村清
浅谷之信 長野裕
水口純治 山本貢伸

〔仕舞〕

鶴亀 田屋邦夫
国栖 藪克徳
八島 高橋右任
杜若 藪俊彦

〔舞囃子〕

三輪 佐野玄宜

大鼓 飯嶋六之佐 太鼓 前田孝雄
小鼓 住駒俊介 笛 室石和夫

〔仕舞〕

竹生島 佐野弘宜
胡蝶 高橋憲正
誓願寺 佐野由於
邯鄲 渡邊荷之助

〔狂言〕

六地藏

すっぱ 能村祐丞

休憩

田舎者 炭哲男
仲間の者 清水宗治
仲間の者 山田讓二
仲間の者 炭光太郎
後見 荒井亮吉
中尾史生

〔能〕

童子 福岡聡子
赤 渡邊茂人
白 島村明宏

石橋

連獅子

ワキ 北島公之

大鼓 飯嶋六之佐 太鼓 麦谷暁夫
小鼓 住駒幸英 笛 江野泉
後見 高橋右任 船本嘉人 佐野玄宜
高橋憲正 岩井嘉樹 佐野由於
藪克徳 酒井章 広島克栄
木谷哲也 笠間啓 佐野弘宜
松田若子
高野秀幸

〔終了午後四時半頃〕

解説

〔能〕石橋

〔しやつきょう〕

中国に渡って仏跡を拝み廻る寂照法師（俗名は大江定基（ワキ）はこのたびは聖地清涼山に至り、石橋（実は天台山にある）らしき橋を見つけて確認のため人を待ちます。そこへ薪採りの童子（ツシ）が通りかかり、確かにこれは石橋であり、対岸の浄土をよく拝むように勧めます。それではと寂照が橋を渡りかけると、童子が制して十分に修行を積んでからにしないと諭します。それも道理で、雲から落ちる数千丈の滝に嘸々とした巖、苔で滑りやすい一尺に足りない石橋は、まさに天の浮き橋と言ふべきであり、見下ろせば目はくらみ足もすくんで心も消えるばかりの恐ろしさです。やがて文殊菩薩の来現もあろう、しばらく待てと言いついて童子は去りました。童子の予言にたがわず、文殊菩薩の使獣獅子（シテ）が現れて、牡丹の花に舞い戯れ、王威になびく御代を祝した後、獅子の座に戻ります。小書「連獅子」では赤白二頭の獅子が紅白桃の三色の牡丹の花に戯れます。

